

## エコ楽™クリーナーF.A.Q



Q:エコ楽クリーナーと普通の洗剤やクリーナーとはどのように違うのですか？

A:物の表面の汚れを取るために最初に試すことは、空拭きや水拭きです。それでは取れない汚れは、昔も今も洗剤(界面活性剤)を使って大量の水とともに洗い流されます。水と油を無理矢理一緒にしてやろうというのが洗剤を使う方法です。しかし、レンジ・換気扇・蛍光灯などの汚れは簡単に洗い流せないだけでなく、こびりついて簡単にはキレイにはなりません。剥がし残りのラベルなどはこの方法ではお手上げです。汚れを浮かして(剥がして)拭いてキレイにする汚れとりの原点「拭く」ことがエコ楽クリーナーのやり方です。

Q:化学雑巾やマイクロスポンジとは違うのですか？

A:化学雑巾は布の表面を化学処理して油やホコリがくっつき易くしたものです。マイクロのスポンジは研磨剤の粒子を細かくしていろいろな表面に傷がつかない(あるいは見えない)ように「力」で剥がしてやる方法と同じです。確かにキレイになります、広い範囲の油汚れ、大量の汚れには不向きです。こびりついた油汚れやノリ、ガム、ラベルなどは取れませんね。エコ楽クリーナーには油と馴染みの良い植物油からつくられた化粧品にも使われているエステルと水が入っていますから、油汚れも、水で取れる汚れもエコ楽クリーナーの方に来たりします。しかし、エステルと水は混じりませんから、離れないようにしてやるのがゲル化剤で、これには光沢をだす効果もあります。さらに汚れをしっかりとキャッチするのが脂肪酸の役目です。



Q:なるほど逆転の発想ですね。

A:そうです。汚れを無理無理剥がし、取ろうとするのではなく、自分から取られたがるような工夫です。イソップ童話の「風と太陽」のように、無理に剥がそうとするとますますくっついたり、広がったりします。剥がれなくなりますが、だから研磨剤も入っていませんし、ほとんどの汚れがキレイに取られるので、取れた後に元の輝きに戻ってきます。



Q:エステルというのは揮発性の石油からの作られたものですか。臭いはどうなのでしょう。

A:エコ楽クリーナーのエステルは植物の油をから作られたものです。分子も大きくて臭いは感じられません。その他の成分も植物の油から作られたものと水だけです。自然の中でも直ぐに分解されます。ペンキを薄める揮発性の溶媒(シンナー)のような毒性や発ガン性もなく、化粧品などにもよく使われている成分だけが入っています。



Q:入れ物は化粧品などと良く見かけるものとちがっていますが、何か理由があるのでしょうか。

A:容器も再利用できるようになっています。詰め替えたり、別の目的のものにすることができます。なお、混ざりを良くするために鉄球が入っています。

**利用者の声:**「エコ楽クリーナーで早速バスルームのステンレス部分を拭いてみました。ピカピカになり気持ち良いです。ホントたらたら垂れないので無駄が無くていいです。」

窓ガラスに糊で張り付いてはがし切れなかった紙の残りを、エコ楽を付けて2-3分後に拭いたところ、綺麗に落ちました。食器などの値段シールが、はがし切れなかった時等にも使えそうです。これは、もう既に御存知かとは思いましたが、ガラスが綺麗になったのがうれしくてメールをさせて頂きました。]  
ニューヨーク在住N・さん

### メモ:

ライセンス製造・販売元



(株) Artscie (アートシー)

538-0044

大阪市鶴見区放出東3-26-19

電話・ファックス: 06-6962-4477

www.artscie.com

共同開発・技術提携



3 Hillside Place  
Chappaqua, New York  
チャパクア・ニューヨーク

International Art and Science Group, Inc.  
www.iaasg.com

A Clean World without Limits  
限りなくきれいな地球を

エコ楽™  
クリーナー



人・環境・発明・科学・技術